

## 教科等別年間指導計画

学年	3	教科 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していくと意欲態度を養う。</li> <li>・対象を深く見つめる力、感性や発想する能力を伸ばす。</li> <li>・自然や美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。</li> </ul>					
教科	美術							
授業 方法 形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉授業</li> <li>・グループ授業</li> <li>・個別学習</li> </ul>	先生 から 一言	自分自身の発想を大切にしながら、粘り強く制作に取り組み、表現することの楽しさと喜びを味わいながら、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てよう。					
月	単元名	単元のねらい・内容		評価基準・方法等	総合的な学習・ことばの 教育・環境教育・情報	時 数		
4	美術家は語る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前学年での活動を振り返り、新学期の学習に対する意欲を高める。</li> <li>・それぞれの作者のメッセージを知る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術に対する興味関心をもち、学習意欲を高めることができる。</li> <li>・それぞれの作者のメッセージを知り、作品のよさを味わうことができる。</li> </ul>		1		
	形をとらえてかこう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象物を深く見つめ、形をしっかりとらえて描く。</li> <li>・明暗、タッチや線の粗密を工夫し、立体的に表現する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象物をじっくり見つめ、鉛筆のタッチや線の粗密による、立体感や材質感の表現ができる。</li> </ul>		1		
5	木のぬくもりを感じながら(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用途や機能から発想を練り、材料を生かしながら図案を考える。</li> <li>・彫刻刀など道具を正しく使い方を知る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・工芸作品と生活との関わりをさまざまな場面を通して知ることができる。</li> <li>・用途や機能、材料などから発想を練り、図案を考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品鑑賞において感じたことを文章で表現する。</li> </ul>	15		
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな木彫りの彫り方を理解する。</li> <li>・手作りのよさを生かして作品をつくる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・彫刻刀を正しく使用し、いろいろな木彫りの彫り方について理解する。</li> </ul>				
7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・木彫り作品の仕上げの方法を理解し、工夫をしながら制作をする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・木彫りの作品の仕上げ方を理解し、ていねいに仕上げるることができる。</li> </ul>				
9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的、自発的に感性を働かせて、他者の作品のよさや美しさを感じる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の作品のよさを感じることができる。</li> </ul>				
10	浮世絵と印象派	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常にある色彩の豊かさを発見し、色彩についての基礎的な知識を学習するとともに、表現などの学習に生かす。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・色の三要素や感情効果、色彩効果、色の性質や分類についての基礎的な内容を理解し、日常生活や作品に生かすことができる。</li> </ul>		1		
	近代・現代の美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代・現代美術作品について関心を持ち、鑑賞する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの作品鑑賞を通して、込められた思いを感じとることができる。</li> <li>・作品のよさを感じとることができる。</li> </ul>		1		
11	いろいろな技法 モダンテクニック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モダンテクニックに関心をもち、理解することができる。</li> <li>・モダンテクニックを用いて、自分のイメージするものを制作する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・モダンテクニックに関心をもつことができる。</li> <li>・モダンテクニックを理解することができる。</li> <li>・モダンテクニックで自分のイメージするものを制作することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品鑑賞において感じたことを文章で表現する。</li> </ul>	3		
		思いを込めて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主題を深く見つめ、感じとったことや考えたこと、夢や理想や感情など自分の描きたい題材を決め、点描で表現する。</li> <li>・点の粗密により、立体感、材質感、量感などを表現する。</li> <li>・自主的・自発的に感性を働かせて、他者の作品のよさや美しさを感じとる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の描きたい題材を決め、点描表現への意欲を持つことができる。</li> <li>・点の粗密により、立体感、材質感、量感などの表現をすることができる。</li> <li>・他者の作品のよさや美しさを感じとることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品鑑賞において感じたことを文章で表現する。</li> </ul>	10	
1	2		3	自画像をかこう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己をみつめ、心の動きを顔の表情などで表現する。</li> <li>・他者の作品に興味をもち、作品のよさを味わう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・画家たちの作品鑑賞から、自画像の意図を感じとることができる。</li> <li>・自己をみつめ、自己を表現し、現在の自分を描きとめることができる。</li> </ul>	